

大規模土砂災害に関する調査・研究・技術開発について議論！

～那智勝浦町で大規模土砂災害対策技術センター運営会議を開催～

- 大規模土砂災害対策技術センターは、平成23年の紀伊半島大水害を契機として、大規模土砂災害に対応するための研究・開発、土砂災害対策に関わる人材の育成等を目的とし、平成26年に近畿地方整備局が設立した組織であり、和歌山県那智勝浦町を拠点として活動しています。
- 今回は那智勝浦町に構成員が集まり、深層崩壊に関する調査研究や無人化・自動化施工技術、UAVを活用した調査点検監視技術などについて、達成状況や今後の実施方針を確認、議論しました。

＜開催日＞令和7年11月7日（金）

＜場所＞大規模土砂災害対策技術センター
（和歌山県土砂災害啓発センター内）

○ 今後の土砂災害対策について検討

自動化施工やUAVによる調査等の最新技術の活用状況を踏まえた、今後の大規模土砂災害対策について話し合いました。



▲オブザーバーとして、那智勝浦町、和歌山県、紀南河川国道事務所にもご参加いただきました。



▲本質的な議論が繰り広げられました

○ 開会あいさつ



これまでの砂防堰堤整備について御礼申し上げます。観光の観点からも安心・安全が向上するように、今後も予防的な災害対策についての研究が発展することを期待します。

【来賓】堀 町長
和歌山県 那智勝浦町

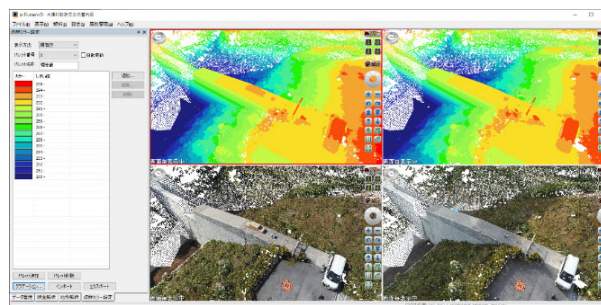
我々センターではこれまで大規模土砂災害に対する研究を進めてきた。研究した成果を最良の技術として確立していくように、今後も本質的な議論を進めていきます。



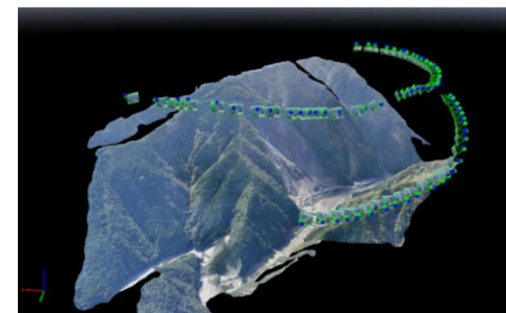
福渡 センター長
近畿地方整備局 河川部長

主な取組内容

○3次元点群を用いた砂防施設変状の自動抽出技術の開発



○天然ダム規模把握のための三次元モデル作成の試み



【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
河川部 河川計画課 総合土砂災害対策係
TEL 06-6945-6355



大規模土砂災害対策技術センターについて詳しくはこちら▼

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kiisankei/center/>